

野菜類・いちじく・かんしょの
ネコブセンチュウ防除に

天敵微生物農薬

パストリア®水和剤

農林水産省登録 第20064号

野菜類に
登録拡大

- ネコブセンチュウの増えにくい土を作る！
- 熱にも乾燥にも強く扱いやすい！
- 他の農薬と併用可能！（クロルピクリン・臭化メチルを除く）
- 他の生物相に影響を与えない！
- 有機農産物、特別栽培農産物にもOK！

パストリア[®]水和剤

■パストリア水和剤の特長

- 本剤は天敵微生物農薬（パストリア ペネトランス菌）でネコブセンチュウに寄生し、土壤中のセンチュウの増殖を抑制し、センチュウ害を低減します。
- 本剤の有効成分パストリア ペネトランス菌はネコブセンチュウを餌にして自己増殖します。またセンチュウに遭遇しなくても土壤中で数年間生存するため、長い残効が期待できます。
- パストリア ペネトランス菌は温度条件、水分条件等の環境変化に強いいため、本剤は通常の水和剤と同様に常温で保管できます。
- ネコブセンチュウのみに寄生するため、他の生物相に影響を与えることはありません。

■有効成分および安全性

- 有効成分 パストリア ペネトランス孢子
1.0×10⁹個/g
- 性状 褐色水和性細粒および微粒
- 安全性 普通物、A類相当
- 包装形態 100g 500g

■適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	10aあたり使用量		使用時期	本剤およびパストリアペネトランスを含む農薬の総使用回数	使用方法
		薬量(kg)	希釈水量(L)			
野菜類	ネコブセンチュウ	1~5	150~200	定植前	1回	土壌表面に散布し混和
かんしょ						
いちじく		300	生育期	土壌表面に散布		

■使用上の注意事項

- パストリア水和剤の希釈液を作る時は付属のネットに少量ずつ入れながら、攪拌した水に徐々に溶かすようにしてください。
- パストリア水和剤はサツマイモネコブセンチュウだけに効果を示します。
- パストリア水和剤使用後に、クロルピクリン剤や臭化メチル剤を使うと有効成分のパストリア菌が死滅してしまいます。
- 定植時のネコブ線虫密度が高い場合は、パストリア水和剤の効果が現れる前に作物が被害を受ける場合がありますので、他のセンチュウ剤と併用してあらかじめネコブセンチュウ濃度を下げておいてください。
- 吸湿性があるので、開封後は湿気には十分注意し、保管してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。



登録商標 第1902445号



サンケイ化学株式会社

本社 〒891-0122 鹿児島市南栄2丁目9番地 099(268)7588(代)
九州北部営業所 〒841-0025 鳥栖市曾根崎町1154-3 0942(81)3808(代)
宮崎事務所 〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19(山本ビル) 0985(25)7051
熊本連絡所 〒868-0014 人吉市下薩摩瀬町1604-11 0966(24)2232

B-0504C-50S